



# 小田原男声合唱团

## 第37回定期演奏会

Andantino  
12/8  
f  
4

VI. 旅愁小田原城

大木惇夫

大木多雄  
作詩  
作曲

がら は こ ぬ らん せ び ら に おい

2008.11.8 (土) 午後4:00 開場 午後4:30 開演  
小田原市民会館大ホール

主催  
後援

小田原男声合唱团  
小田原市教育委員会  
日本男声合唱協会 (JAMCA)  
神奈川男声合唱協会 (KAMCA)  
湘南合唱連盟  
小田原地区合唱連盟  
小田原音楽連盟



## ごあいさつ

### 小田原男声合唱団团长 一色 義信



本日より大勢のお客様をお迎えし、小田原男声合唱団第37回定期演奏会を開催できまことに、団員一同心より御礼申し上げます。

本年は、9月14日に滋賀県のびわ湖ホールで開催されました日本男声合唱協会（JAMCA）滋賀演奏会において、多田武彦先生に作曲をしていただいた「大木惇夫の詩から・四季點綴」を初演し大変好評をいただきました。本日はその感動を小田原の皆様にもご披露させていただきます。また、本演奏会においては清水雅彦先生を客演指揮者にお迎えいたしました。清水先生に、本年3月までの1年間グアテマラをはじめ中米各国における音楽研究活動の際、オダダンのために「5つのおアハケーニャによる憧憬」を演奏させていただきました。清水先生には情熱的かつ充実した練習をしていただき、信長先生の素晴らしい編曲と相まって、オダダンの新しい一面を、そして男声合唱界の新たなパートナーをご披露できるものと思っております。今年もオダダンは（高齢化にもかかわらず）精力的な活動を続けています。

大学の男声合唱団が団員の減少に悩む昨今、日本男声合唱協会（JAMCA）においては会員数が100を超え、また神奈川県男声合唱協会（KAMCA）においても今後、多くの仲間とともに合唱が出来ますよう新たな展開を計画しております。オジサン達はますます元気です。高度経済成長、オイルショック、円高経済、バブル崩壊とあらゆる局面を社会の第一線で戦い抜いたオジサン達が、男声合唱を通して心の豊かさを取り戻しているのではないのでしょうか。その反面、若い人達にとつてはまだ合唱をするには厳しい経済環境、社会情勢かもしれませぬ。しかしながらそのようなり時代だからこそ、男声合唱というオアシスで羽を休め、明日への活力を培ってほしいと思っております。幸いにして本年もオダダンは若手をはじめ何名かの新しい仲間を迎えることができまいた。本日も来場の皆様（申し訳ございません、男性に限らせていただきます。）も是非お気軽にご参加下さい。ともに歌い、ともに語り、ともに飲みましょう。お待ち申し上げております。

さて、私たち小田原男声合唱団が2010年10月に開催を計画しておりました日本男声合唱協会（JAMCA）小田原演奏会は、皆様ご存じのとおり新しいホールの建設が白紙に戻ってしまったことにより、断腸の思いで中止をいたしました。関係各位には多大なるご迷惑をおかけいたしましたことをこの場をお借りし深くお詫び申し上げます。一日も早く小田原の文化の発信地としての新しいホールが建設され、全国から多くの男声合唱の仲間を迎え、JAMCA小田原演奏会が開催できますことを切に望んでおります。

私たちオダダンは、音楽監督兼常任指揮者外山浩爾先生の献身的な指導のもと、より高度な合唱音楽を追究し、ますます精力的に活動を続けて参ります。皆様の変わらぬ温かいご支援を心より願ひ申し上げます。

# § プログラム §

## I 男声合唱組曲 海の構図

指揮 ピアノ 外山 浩爾  
中根 希子

小林 純一 作詩  
中田 喜直 作曲  
福永陽一郎 編曲

- 1 海と蝶
- 2 海女礼讃
- 3 かもめの歌
- 4 神話の巨人

## II From The Sunny South

Stephen Foster 作曲 牛丸 純一  
福永陽一郎 編曲 中根 希子

- 1 My Old Kentucky Home
- 2 De Camptown Races
- 3 Beautiful Dreamer
- 4 Jeanie with the Light Brown Hair
- 5 Old Folks at Home
- 6 Oh! Susanna
- 7 Old Black Joe

懐かしきケンタッキーの我が家  
草競馬  
夢路より  
金髪のジェニー  
故郷の人々  
おお! スザンナ  
オールドブラックジョー

休 憩

## III El ensueño por cinco oaxaqueñas 5つのオアハケーニャによる憧憬

指揮 清水 雅彦

信長 貴富 編曲

本年度 編曲委嘱作品 初演

- 1 La Martiniana
- 2 Canción Mixteca
- 3 Mi Linda Oaxaca
- 4 La Sandunga
- 5 Mañanitas

マルティニアーナ  
ミステフ族の歌  
私の美しきオアハカ  
サンドウンガ  
マニヤニータ

## IV 男声合唱組曲 大木惇夫の詩から・四季點綴

指揮 外山 浩爾

大木 惇夫 作詩  
多田 武彦 作曲

本年度 委嘱作品  
( 初演 於：日本男声合唱協会 JAMCA 滋賀演奏会・9/14 びわ湖ホール )

- 1 野茨の道
- 2 秋に見る夢
- 3 南
- 4 冬 薔薇
- 5 見果てぬ夢
- 6 旅愁 小田原城

## 海の構図

小林純一 作詩 中田喜直 作曲 福永陽一郎 編曲

「海の構図」は、中田喜直氏がNHKの委嘱により、混声合唱曲として世に出した名曲である。1961年6月30日「現代音楽日本曲集」の時間に東京混声合唱団の演奏で放送初演された。

その後、この曲を目にした福永陽一郎氏は、「男声合唱曲的な素粒子を秘めている」と感じて1970年8月に最初の男声合唱版の編曲を完成させ、同年10月の第19回東西大学合唱演奏会の合同曲として、北村協一氏の指揮によって初演された。そして、1973年に改訂が加えられ、編曲者自身、福永陽一郎氏の指揮により、同年6月の第22回東西四大学合唱演奏会において合同曲として再び演奏された。

この男声合唱版は、編曲者自身が「ピアノパートの移調が許されなかった」と書いているように、男声合唱の響きを損なうことなく演奏する高い技術が要求される。

作曲者の推奨により1977年正式に出版の運びとなり、以来多くの男声合唱団で演奏されている。近くは、2007年5月、第56回東京6大学合唱連盟定期演奏会において合同曲としても取り上げられている。

小田原男声合唱団では、1978年の第7回定期演奏会にて、当団の常任指揮者であった福永陽一郎氏の指揮の下、演奏された。

第1曲の「海と蝶」は、海が、空や青さや風の音色をも呑み込んでしまう荒々しさを持つとともに、子守唄を聴かせるような深い優しさをも秘めており、「一体お前はどっちが本当の姿なのだ」と問いたくなるような、海の持つ二面性を表している。

第2曲の「海女礼讃」は、海には、人魚や飛天を想わせる美しい少女が棲んでいるのではないか、という幻想を豊かに表現している。

第3曲の「かもめの歌」は、波の揺れにあわせるように、というよりもあわせて舞うしかないかもめの様を通して、海が生きるもの定めを左右する力を持つ広大なものなのだということを、美しいハーモニーの中に表している。

第4曲の「神話の巨人」は、海が、かつては神話の時代の神やサタンの手に負えないほど大暴れする凶暴な巨人であり、今でもその様をあらわにするが、一方でその巨人が眠りについたときには、夕映えの美しい少女のように優しい時もあるのだという、第1曲目の「一体お前はどっちが本当の姿なのだ？」という様を、巨人と少女という姿で表現している。

( 文責 福井 隆 )

## I 海と蝶

海よ、海よ、  
あなたの表情は、  
どういふ時が、ほんとうなのですか。  
きようの、その、  
くすぐったそうな表情！

空の青さが 色あせたからといって、  
あなたのせいではないでしょう、  
空の方から溶けこんだのです。

風が音色を失ったからといって、  
それも あなたのせいではない、  
じぶんで 波間に消えたのです。

海よ、海よ、  
あなたの表情が、しかし、  
きようのような日に、  
地球のどこかで、  
小さな、黄色い蝶が一匹、  
こっそり生まれているのです。

海よ、海よ、  
あなたの、その子もり歌をつづけてください。

…… ういん、ういん、るいん、るいん。  
ういん、ういん、るいん、るいん。

## II 海女礼讃

人魚の姫にたとえられて、  
海の少女は くつくつと笑ったが、  
瞬間、ほころびた口もとに真珠が輝き、  
黒髪を 海草の匂いがつつんだ。  
そうして、まぼろしのように海底に消えていった。  
ああ、人魚でなかったら、  
なんだというのだから、  
あの美しい海の少女は。

また、飛天の像にたとえられて、  
海の少女は くつくつと笑ったが、  
瞬間、口もとをもちる息が笛の音となり、  
はだえを七色の虹がつつんだ。  
そうして、天翔る姿そのままに海底に消えていった。  
ああ、飛天の像でなかったら  
なんだというのだから、  
あの美しい海の少女は。……

## III かもめの歌

かもめ、かもめ、  
ひもすがら、  
なみの まにまに、まう かもめ。  
かなしき さがよ、  
ひもすがら、  
うねりのままに、まう かもめ。  
ゆらゆらと、ただ、ゆらゆらと。

かもめ、かもめ、  
しおざいの、  
うたに あわせて、まう かもめ。  
かなしき さがよ、  
しおざいの、  
うたうがままに、まう かもめ。  
ゆらゆらと、ただ、ゆらゆらと。

## IV 神話の巨人

その頃、  
海は孤独な巨人だった。  
鉛色の頭髪(かみ)をかきむしり、  
狂暴な叫び声をあげて、  
のたうちまわってばかりいた。  
うおーん、どどどーん、  
うおーん、ざざざーん。  
竜が、暗い天へ登っていった。

神にも、サタンにも、  
巨人の気むずかしさを  
どうすることもできなかつた。

今でも ときどき、  
海は孤独な昔にかえる。  
鉛色の頭髪(かみ)をかきむしり、  
狂暴な叫び声をあげて、  
ただ、のたうちまわる。  
うおーん、どどどーん、  
うおーん、ざざざーん。

そんな時、  
人間はただ、  
巨人の疲れはてて寝入るのを待つしかない。

ああ、  
神話の巨人は今、  
何を考えているのだろうか。  
夕焼けに映えて、  
少女のように無心に赤いリボンをはひるがえ  
しているが ……。

…… ういん、ういん、るいん、るいん。  
ういん、ういん、るいん、るいん。

## From The Sunny South (フォースター メドレー)

S. フォースター 作曲 福永 陽一郎 編曲

海外の作曲家の中で『フォースター』ほど日本人に親しまれ、よく歌われてきた作曲家は  
いないのではないだろうか。それは明治22年編纂の文部省唱歌に「故郷の人々」が選ばれ  
て以来、戦時中の一時期を除いて今日まで多くの歌が音楽の教科書に収載され、殆どの日  
本人がフォースターを歌った経験を有することだけでなく、その作品はメロディーが美しく  
親しみやすいのに加えて、作品の多くが「蛍の光」や「庭の千草」のようなスコットラン  
ド民謡、アイルランド民謡のようなそこはかとないうるさみ哀愁を帯びていて、それが日本人の感  
性にフィットしたところにあるように思われる。

ステイブン・コリンズ・フォースター (1826-1864年) はアメリカ西部開拓時  
代に活躍し、22歳時に発表した「おお! スザンナ」が全米に広がる大ヒット作品となって  
作曲家としての一步を踏み出した。以後、当時アメリカで大流行していたミンストレル・  
ショー (白人が黒人に扮して演ずる歌と演劇のパラエティショー) のために数々の作品  
を発表しヒットメカーとなるが、当時は著作権が確立していなかった時代であり、経済  
的には不遇の内に約200曲の作品を残して37歳の若さでこの世を去った。その作品は  
作風により、スコットランド民謡やアイルランド民謡の流れを引くポピュラーな歌曲 (夢  
路より、金髪のジェニー等) と「農園歌」に大別され、さらに農園歌も黒人訛りの歌詞で描  
かれた黒人歌 (おお!スザンナ、草競馬等) とそれに続く訛りのない標準英語で描かれた黒人  
歌 (故郷の人々、懐かしきケンタッキーの我が家、オールドブラックジョー等) に分類さ  
れている。当時はまだ奴隷制度が存在する時代であったが、標準英語で作られた農園歌は  
黒人奴隷の悲哀に満ちた心情や人生をその立場に立って描いたもので、フォースターはその  
名を不朽にした名曲が多い。なおフォースターの作品の歌詞は共作もあるが殆どが自作とい  
われている。

本日演奏するフォースターメドレーはオペラ、オペラ、合唱の指揮者として日本の  
音楽会に大きな貢献を果たし、また編曲家としても多くの優れた作品を残した福永陽一郎  
氏の1956年の作品である。そして、福永氏はわが小田原男声合唱団の創設以来、終身  
(15年間)音楽監督・常任指揮者を努めた小田男の育ての親でもある。

### 1. My Old Kentucky Home (懐かしきケンタッキーの我が家)

1853年(27歳)の作品。前年には黒人奴隷問題に大きな影響を与えた名著「ア  
ンクル・トムの小屋」が出版されており、一説にはこの曲を生み出す動機になったと  
いう。

豊かで平和なケンタッキーの農園が突然の不作に見舞われ、黒人奴隷の一家が離散  
する悲劇を歌っている。1928年にケンタッキー州の州歌に制定された。

### 2. De Camp town Races (草競馬)

1850年(25歳)の作品。フォースターがペンシルバニアのキャンプトウン (大  
陸横断鉄道の建設会社が一時的に設営したテント村)を訪れ、そこで曲想を得て作曲  
されたという。軽快なテンポと「ドウダー!」「ドウダー!」「ドウダー!」の掛け声、軽妙な歌詞が  
西部開拓に携わった人々の陽気で活力に満ちた雰囲気醸し出している。

### 3. Beautiful Dreamer ( 夢路より )

1864年(37歳)最晩年の作品。死後遺作として発表された。いわゆるスコットランド民謡の流れを汲む作風の曲の中では最もポピュラーな曲で優雅な抒情性をたたえている。

日本では津川圭一の名訳「夢路より帰りて、月の光仰ぎぬ・・・」の歌詞で親しまれてきた。

### 4. Jeanie with the Litght Brown Hair ( 金髪のジェニー )

1854年(29歳)の作品。数年前に結婚したばかりのジェーンをモデルにしたといわれているが歌詞の内容は去って行った彼女の思い出ばかりである。この曲は発表当初から余り評価されず、1940年以降に見直され歌われるようになった。

### 5. Old Folks at Home ( 故郷の人々 )

1851年(25歳)の作品。「おお！スザンナ」に続いて当時大ヒットした。前述のように明治22年(1888年)に文部省唱歌に選定されたが原詩に關係なく作詞され「哀れの少女」という邦題で歌われた。原詩の内容はアメリカ南部プランテーションから逃れ、北部の自由州に生き延びた黒人たちが子どもを懐かしく思い出す歌になっている。1935年にフロリダ州の州歌に制定された。

### 6. Oh! Susanna ( おお！スザンナ )

1848年(22歳)の作品。当時はゴールドラッシュ時代で西部を目指す人達がこの歌を愛唱し、瞬く間に全米に広がったという出世作である。軽快で陽気な曲であるが、その歌詞はかなり支離滅裂な内容である。この曲はフォスターが十代の半ばに、仲間内で楽しく騒ぐための曲として作曲したものである。

### 7. Old Black Joe ( オールドブラックジョー )

1860年(34歳)の作品。「ジョー」は妻ジェーンの実家の黒人召使いで、そのジョーを通じて、アメリカ南部の黒人奴隷の深い嘆きと孤独を歌い上げた。この曲は緒園涼子の名訳「若き日はや夢と過ぎ、我が友はや世を去りて・・・」で歌った方が多いであろう。

## El ensueño por cinco oaxaqueñas 5つのオアハケーニヤによる憧憬

編曲：信長 貴富

オアハケーニヤについて

メキシコ合衆国南部、太平洋岸に面した山がちの州オアハカは、マヤ人が築いたパレンケ遺跡や、サポテコ人が創ったモンテ・アルバンなど、世界文化遺産にも登録されている大遺跡が点在し、今なお先住民文化が色濃く残るところ。低地と太平洋岸地域は高温多湿であるが、州都オアハカのある高原地帯は乾燥し、夏でも夜間は涼しく、穏やかな気候に恵まれている。1500年代の大航海時代にスペインがこの地を制圧し、壮麗な教会を築き、街の整備を進めたため、コロニアル建築が立ち並ぶ歴史地区が今なお残り、先の遺跡とともに世界文化遺産に登録されている。この、メキシコの魅力を凝縮したようなオアハカは、多くの観光客が魅了され、また訪れたいと願う、そんな美しい地である。

そこに住まう人のことをスペイン語で Oaxaqueño オアハケーニョ（女性は語尾が a となるのでオアハケーニヤ）と言い、またこの地に伝わる歌・民謡を Oaxaqueña オアハケーニヤ（歌は女性形で表す）と呼ぶ。メキシコ民謡というと、独特のリズムに乗った陽気な歌を想像しがちだが、オアハケーニヤの多くはしっとりとしたメロディーを持ち、日本人の感性に近いものも多く存在する。先住民たちはアジア民族と同じ蒙古斑も見られると言いが、黒髪と黒い瞳を持ち、さして大柄でない。そこに流れる歌に懐かしささえ覚えるのは、遠い祖先が繋がっていたからだろうか。

作品が生まれるまで

昨年4月よりこの3月まで一年間、勤務先の都留文科大の在外研究制度により、グアテマラ共和国に滞在。この間、研究テーマを「中米における声楽・合唱作品と作曲家研究」とし、メキシコと中米各国を回り、声楽、指揮法の講習を受け持つとともに、多くの作品や音楽家と出会い、貴重な関係作りをしてきた。メキシコ国内ではメキシコシティ、プエブラ、グアダハラハラ、メリダと、それぞれ魅力溢れる都市において感動の出会いを繰り返したが、オアハカでのそれは格別な思いが残る。

Israel Rivera（イスラエル・リベラ）氏は、まだ20代の合唱指揮者。彼の父 Israel 氏（中米では父親は息子に、母親は娘に自分と同じ名前を授けることが多い）は有名な合唱指揮者であり、地元の名士であったが、残念なことに急逝し、その後を継いだのが Israel 息子であった。私は運よく、彼が母親（合唱団の歌い手である）と二人で暮らす家に数日間滞在させていただき、Israel 父の写真に見守られながら膨大な楽譜や録音に触れることができた。その時に持ち帰らせていただいたオアハケーニヤの中の5曲が、本月初演するものである。

実は日本を発つ前に、小田原男声合唱団を振らせていただくことが決まっていた、その際は中米の作品を、と団からも希望が出されていた。しかしながら合唱はほとんどが混声、時々女声が存在するという地域において、男声合唱作品に出会うチャンスはついに巡ってこなかった。それであるならば、と膨大な資料から手に取ったのは、先に記した通り懐かしさが感じられるオアハケーニヤであった。

その際、編曲については、信長貴富氏をお願いし、思い浮かばなかったが、幸い信長氏と小田原男声合唱団との関係もすでにあり、すぐにご快諾いただいた。そして、いくつかの感動的な人との関わり、嬉しい偶然とが重なり生まれたこの作品を「5つのオアハケーニヤによる憧憬」と名付けた。

元譜は簡単なハーモニーがついているものもあったが、単旋律のものがほとんどで、多くは手書きであるため歌詞も音も読みにくく、編曲は困難を極めたであろうことが容易に想像できる。しかしながらスペイン語に果敢に挑戦してくださった小田原男声の皆さんと音を紡ぐたび、オアハカの美しい情景と Rivera 一家の笑顔が浮かび、信長氏の手腕の見事さに感嘆し続けた。

この作品が生まれたこと、本月初演できること、そしていつかメキシコに持ち帰ること、すべてが憧れの中に在る。すべての皆様に、この場を借りて大きな感謝を捧げたい。

## 詩の大意

### 1. **La Martiniana** マルティニアーナ (悲しい歌) Andrés Henestrosa 詩 作曲者不詳

娘よ、私が死んだ時、どうか私の墓で泣かないで  
どうか美しいサンドウंगा (メキシコ民族舞踊・音楽) を私に歌っておくれ  
泣かないで、泣かないで、私かもしれない死んだとしても  
もしお前が私のために歌ってくれたら、いつでも音楽の中で私は生き続けるのだから  
どうか歌っておくれ、音楽は死なないのだから

### 2. **Canción Mixteca** ミステフ族の歌 (メキシコ先住民の歌) 作詩者不詳 Jose Lopez Alaves 曲

今、私は何と生まれた地から離れた所に居て  
強い郷愁の思いにとらわれているのだろう  
ただ風に吹かれる木の葉のように  
悲しみにで泣きたい、死んでしまいたい、という思いに包まれている  
おお、今、私は何と光も愛も無い遠い地で、悲しみの中に生きていることか

### 3. **Mi Linda Oaxaca** 私の美しきオアハカ Jacobo Kendis 詩・曲

僕は今、お前オアハカから遠く離れた片隅に居る  
オアハカ、私の生まれた愛すべき地よ、お前は私の中に生きている  
帰りたいと願う、私の涙の声が聞こえる  
私の魂である美しいオアハカよ、再び見ることなく死にたくはない  
宝物を守るかのような愛おしさで、私はお前を愛している  
もし帰れなくても、愛するオアハカよ、私はお前に懐かしさに満ちたくちづけを与える

### 4. **La Sandunga** サンドウंगा (メキシコの民族舞踊・音楽) Tradicional 詩・曲

ああ神の母なるサンドウंगाよ、情け深い心の母よ  
ある夜、私はあなたの家へ行き、3つの鍵をかけた  
愛する者たちのために あなたがたつらい夢を見ないように

### 5. **Mañanitas** マニヤニータ (朝の歌) Juan G. Vasconcelos 詩 Neriberto Sanchez 曲

おおオアハカ、サファイアの空、今は光り輝くひまわりも花びらが散り  
山々の頂を金色の太陽がくちづけするように染めている  
すべてが朝の光、お祭りのように何と生気に満ちていることか  
すべてが愛の讃歌を歌い祝杯をあげる、森さえも笑って見える  
茂みには鳥がさえずり、バラやオレンジの花が香気で満たす  
そして豊かな小麦畑ではひばりがさえずり始める  
小川は岩々や苔をぬい、歌うように流れていく  
ああ、何と喜びに満ちた朝の情景であろうか

(文責：清水雅彦)

## 男声合唱組曲「大木惇夫の詩から・四季點綴」について

しきてんてい

小田原男声合唱団は近年、外山浩爾先生のご指導の下、着実に発展を遂げている。

西暦2001年には、創立30周年を記念して新作の委嘱があり、大木惇夫先生の詩にこる組曲「西湘の風雅」を作曲。JAMCA演奏会in石川での演奏は見事だった。創立35周年にも新作の委嘱があり、北原白秋の詩による組曲「互寒小景」を作曲。これもJAMCA大分演奏会で名初演を行った。

昨年、今年のJAMCA 滋賀演奏会に照準を合わせたかのように新作委嘱があった。「詩は、小田原に所縁のある方の作品で……」と、何時もの指示。私としては流石にここまで来ると、前二作に劣るものは書けない。可成り緊張しつつ、再び大木惇夫先生の詩集から数篇を選び、大木先生の豊かな詩情に助けられ、一応満足出来る構成と曲想をもった組曲を完成した。「5年ぶりに弟に合う前の詩人の心情」を綴られた第1曲「野茨の道」。「訪日のイタリア人らしい女性との対話形式」で表現された第3曲の「南」。「江戸時代の2度の震災→明治維新の廃藩置県後の廃城→関東大震災時の残余建造物の全壊等のあとの、名城の惨状に心を痛めつつ、轟く濤声と絶え続く松籟の中での往時への追想」を描いた第6曲目の「旅愁小田原城」。大木先生の詩の中では珍しく喜怒哀楽の鮮明な詩群を中心に作曲することができた。

こうした機会を与えて頂いた小田原男声合唱団に御礼申し上げますと共に、JAMCA 滋賀演奏会のご成功と、ご参加各位のご発展を、心よりお祈りする。

#

b

♪

なお、前二作の組曲には、それぞれ「西湘の景物」とか「嚴寒の小田原の風情」とかが纏っていて組曲の標題が付け易かったが、嘗ての「草野心平の詩から」や「中勘助の詩から」などと同様に、今回も一つの標題で括れなかつたので、著作権継承者のお一人であるご長女（現・松本清張記念館館長）にお伺いを立てて、掲記の標題とすることをお許しを頂いた。漢和大辞典などによると「點染(てんせん)」の項の字源には「そめつける」「画家が景物を點綴(てんてい)し、」とあり、また「點綴」の項の字源には「程よくとりあわせて飾る」とある。

因みに、前作の「互寒」について、その字音と字義に質問があつたようだが、これも漢和大辞典によると、「互寒(ごかん)」の項の字義には「きびしさむさ」とある。



## 詩人 大木惇夫が愛した小田原

詩集『智恵子抄』と詩集『殉愛』の著者は誰かと聞かれた時、二人の詩人、高村光太郎と大木惇夫の名を同時にあげることができるだろうか。二つの詩集は、共に詩人が妻との「愛の記録」として詠ったものである。『智恵子抄』は昭和16年8月、『殉愛』は昭和40年11月に出版されている。

大木惇夫は大正10年5月から約1年半小田原の谷津に住み、その間に北原白秋に詩が認められ、戦前、戦後を通じ詩人として活躍し、昭和52年82歳で他界している。東海林太郎が歌う『国境の町』中学校の卒業式歌として歌われる『大地讃頌』の作詩者であると言えれば記憶があるかもしれない。

大木惇夫は、当時の小田原市について処女詩集『風・光・木の葉』のあとがきに、「……ああ、山霧の息吹き、野鳥の囀り、——生氣と自由。梅の古木に囲まれた住居、果樹の多い外園、——静穏と慰安。……私は、仰いで空の青さ広さに驚いた。観て草木花鳥の澗瀬さ新鮮さに驚いた。……実際、小田原の自然くらゐ饒(ゆた)かにも恵まれた自然は少ない。そのありとあらゆる風物は、既に私の詩作生活にとつて無限の宝庫であつた。……」と書いている。

大木惇夫が東京を離れて小田原に住んだのは、妻・慶子の病氣(肺結核)療養のためであり、短期間ではあつたが、強く心に刻まれた思い出の土地となつたのである。

本日演奏する『大木惇夫の詩から・四季點綴』の6編の詩と多田武彦先生の旋律を通して、大木惇夫と慶子が愛した小田原の原風景が儼に浮かばないだろうか。大木惇夫と慶子との結婚生活は、慶子の死(昭和8年1月・享年40才)により終わり、その32年後の昭和40年、195編の「愛の記録」として詩集『殉愛』に残された。

(「野茨の道」は、城山陸上競技場を廻る細道。「冬薔薇」は、処女詩集『風・光・木の葉』の詩に、そして、詩集『殉愛』にこの詩のみ再掲。)

( 文責 伊東 清邦 )

## I 野茨の道

夕闇に花しろと野茨の細道、にはいの道、  
われやひとり行きつもどつ、行きつもどつ、  
貧しくはあれ、弟が来なきを思ふ、明日は弟も  
この細道に伴はぬ、五年ぶりに手とりてやらぬ、  
弟も、よき若者となりたむ、何かしあはれも  
知りたりむ、それは兎まれ野茨の道は、まして丘  
の細道は、兄と弟がすれ行くにふさはし、  
ほつほつと語るによろし。

第一詩集『風・光・木の葉』より

## II 秋に見る夢

秋風にとりのこされし孤独ゆゑ  
ああ、ただに夢こそわたしのなぐさめである、  
それも古風な、さびしい夢  
祖先からの夢。

松籟よ、波の音よ、  
夢にきこえよ。

しぐれる月よ、ちぎれ雲よ、島影よ、  
夢に通へよ。

朝霧よ、穂すすきよ、  
ああ、若荷もしろう夢に咲けよ。

さびしい者のなぐさめは  
さびしい風物の匂ひにある。

いつも旅人の身にそふ夢  
秋の夢。

第二詩集『秋に見る夢』より

## III 南

おくさん  
南のかたです、ね、あなたは、  
オリーブいろの膚に  
まるめるの香をすりこんでおいでだ。

おくさん  
南のかたです、ね、あなたは、  
つぶらな碧いひとみの奥に  
アドリア海の潮鳴りをひそめておいでだ。

おくさん  
南のかたとです、ね、あなたは、  
鳶いろのふっさりとした髪に  
えにしただの黄金の花をさしておいでだ。

お、ひらめく、  
あなたのひろい胸から！  
けふ巣だつ燕のたましひです、ね、それは、  
南のおくさん。

第二詩集『秋に見る夢』より

## IV 冬薔薇

冬ばら、冬ばら、冬ばら、  
こがらし吹けば、冬ばら、  
天翔ける鳥の翼も傷みやすきに、  
粉雪まじり、冬ばら、  
しじろとじろと、句ふ冬ばら、  
あ、わが心がうれたくも、  
咲き継げよ、ねもごろに、  
冬ばら、冬ばら。

第一詩集『風・光・木の葉』より

## V 見果てぬ夢

竹林のなかに佇んで  
わたしは雨にぬれてゐる、夜明けの雨に、  
しんじつ、けさこそ醒めてゐる、  
颯爽として。まだ、竹から竹に  
おぼろな夢が影してゐる。  
わづかかに白いは  
芙蓉の花の一族ばかりだ、  
降りつづきながらも見えぬ雨あし  
竹林は奥になるほど蕭々(しやうた)の声かふかい。  
おお、その声か、  
昨夜の夢に絶えつづいた  
さびしい祭の、あの笙の音のなごりは。

第二詩集『秋に見る夢』より

## VI 旅愁小田原城

遠山の足柄 箱根  
雲きかりかからぬ間なき  
青藍を背(そび)びらに負ひて  
寂たりや、小田原の城、  
朝日かけ濠のかがよひ  
夕星は槽に映えぬ、  
しかはあれ 相模灘より  
おどろなる波ぞ響かふ。

城はあり、そのかみの日の  
藩公(きみ)たちはいづこにありや、  
臆(おそ)けくも空し、  
白壁は蘭に似たれど、  
石垣は屍(かばね)に似たり。

ひとめぐり濠をめぐれば  
旅ころ何ぞ悲しき、  
山鳩も橋をすくから並木の  
葉がくはれに當は灯し  
夏草にきりぎりす鳴く。

「槍うちて鎌に変へよ」と  
「また剣を劔に変へよ」と  
戦ひを否む思ひに  
夕暮の山に向かへば  
たた霧ぞ漂へるのみ、  
夕暮の海に向かへば  
講声のとどろなるのみ、  
松籟の絶え続くのみ。

古城いま何をか語る。

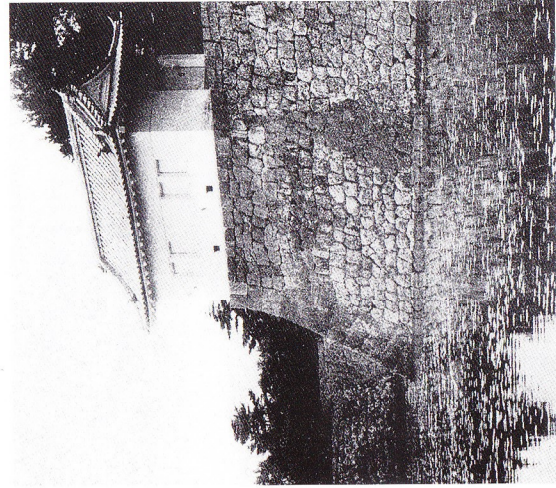
私達が今日目にしている小田原城跡は、小田原北条氏五代(1495~1590)とその後を引き継いだ小田原藩主・前田久保氏(1590~1614, 1686~1869)、稲葉氏(1632~1686)の城郭遺構の一部とされている。室町時代の大森氏の築いた小田原城は八幡山古郭[城山]と呼ばれている所に存在していたと見られており、戦国大名北条氏は二代氏綱の頃に、現城跡へ主体を移し城郭を構築したと考えられている。北条氏三代氏康・四代氏政の頃になると領国形成に伴い、1561年・上杉謙信、1569年・武田信玄に侵攻を受けており、末期には城下町を含む周囲約12kmに及ぶ東国最大規模の城郭となっていた。天下統一を目指す豊臣秀吉と対峙・侵攻を受けた小田原合戦後、秀吉の命を受け徳川家康は江戸に拠点を、秀吉は1590年7月に小田原城に入城し、大久保忠世を小田原城主に指名。前期大久保氏後は江戸時代・稲葉氏による将軍家光上洛等に伴う小田原城の修築、常盤木門奥には上洛將軍家の宿泊施設本丸御殿の建造、天守閣等の修築、城下町整備事業が進められていった(二の丸案内板・郷土文化館展示参照)。

そして後期大久保氏へと幕府番城としての近世的な城へと体裁が整えられていくこととなる。江戸から二十里二町を極め、江戸時代には4度の大地震と3度の大火、さらには、関東大震災と大災を受けている。越えは陰しながら、江戸時代には4度の大地震と3度の大火、さらには、関東大震災と大災を受けている。他と比較しなげ、江戸時代には4度の大地震と3度の大火、さらには、関東大震災と大災を受けている。維持が困難となり廃城令による城郭建築の破却が進み、小田原城も1870(明治3年)には天守閣・本丸諸郭建築物が売却解体され、その後の城跡は比較的良好に保存されてきたといえる。

丸地域の市街地化が進んでいくが、石垣や堀等の遺構は比較的よく保存されてきたといえる。関東大震災(1923)では石垣の大半が崩壊し堀を埋め、復興に当たり二の丸と埋め立てられた中堀には、後に高校と小学校等の敷地へと変わっていく。そして戦後、公共施設が城跡に、1960(昭和35年)5月本丸守台に現小田原城天守閣が復興した。近年に入り城跡主要部の復元整備が進められてきている。

(本文・写真説明：小田原市政50周年記念出版 一枚の古い写真 小田原の近代史の光と影 より引用)

小田原を戦後再び訪れた詩人・大木惇夫には、谷津で一年半を過ごした想い出が走馬燈のように巡ったのではないだろうか。白壁・石垣、そして、螢・きりぎりすに、師・北原白秋、妻・慶・慶子の面影を重ねていたのかもしれない……。



改造後の二の丸隅櫓

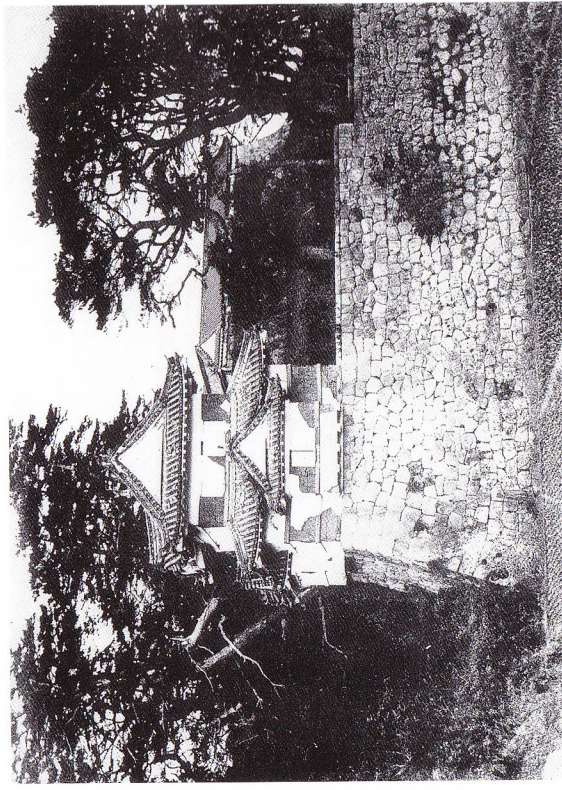
[小田原城趾御用邸] 絵はがき(Hakone Yumoto Sakuragi) 江戸時代には様々な大きさの隅櫓が築かれていた。この櫓は城主の居城(御殿)があつた二の丸主部の南東の隅に位置し、堀を挟んだ向こう側の三の丸にあつた大手門の真後ろを見わたせる。櫓の内部には武器が格納されて有事の際にはここから城下を展望し、敵が攻めてきた場合に矢や鉄砲を放つようになつていた。明治3年の小田原城跡城より天守閣をはじめとすお城の建物が殆どが破却され、この二の丸隅櫓だけが唯一残存していた。1909(明治42)年に二の丸隅櫓が修繕され、この時窓の下に通風孔があげられ、扉が白く塗装された。この点が小田原城古写真の時代判定の基準の一つになっている。当正12年の関東大震災で、櫓は石垣と共に堀の中に崩落してしまつた。現在の櫓は昭和9年(1934)6月に復興されたもので江戸期のものと比較すると一回り小さく、現在の石垣の高さも低くなつてしまつた。(写真：小田原市立図書館所蔵)

### 南曲輪西隅櫓

[ODWARA CASTLE] 『ザ・ファースト』  
1871(明治4)年12月1日号掲載。

前年の11月10日に天守閣や後方に見える常盤木門などと共に、この南曲輪の櫓も売却、間もなく解体されている。傷みは激しいが石垣の上に張り出した石落とし付きの二階櫓の構造がよくわかる。城内空き地や堀には1870(明治3)年頃より城下町村民の願いがかない開墾の手が入り、櫓の下の堀底は早くも収穫を終えた稲田と化している。撮影は堀を田とした同3年末か翌4年の秋頃である。幕末の混乱から廃藩置県へと移り、宮繕などに手がまわらないほど藩の財政が逼迫していた様子が白壁にもうかがえる。

(写真：横浜美術館所蔵)



平成20年度～21年度 事業計画

| 年.月.日      | 曜 | 演奏会等                        | 会場                  | 指揮       | 備考                    |
|------------|---|-----------------------------|---------------------|----------|-----------------------|
| 2008. 1. 8 | 火 | 平成20年 歌いはじめ                 | 旭丘高校音楽室             | 牛丸       |                       |
| 2. 9       | 土 | 平成19年度 総会                   | 小田原市民会館             |          | 18:00～20:00           |
| 3. 14      | 金 | 市民による モーツァルト・レクイエム ゲネプロ     | 小田原市民会館             | 小林研一郎    |                       |
| 3. 15      | 土 | 市民による モーツァルト・レクイエム 演奏会      | 小田原市民会館 大H          | 小林研一郎    |                       |
| 6. 22      | 日 | 第57回 湘南合唱祭                  | 藤沢市民会館 大H           | 牛丸       | 10:00～ 海の構図より 1・3     |
| 8. 23      | 土 | (JAMCA) 日本男声合唱協会 遊演委員会 合同練習 | 中央区立月島社会教育会館 (東京練習) | 滋賀男 富岡   | 合同曲・東野心平の詩から/故郷       |
| 8. 31      | 日 | (JAMCA) 遊演委員会 小田原ステージ 強化練習  | 旭丘 高校音楽室            | 牛丸       | 四季歌謡/草野心平の詩から/故郷/他    |
| 9. 13      | 土 | (JAMCA) 日本男声合唱協会 遊演委員会 ゲネプロ | びわ湖ホール              | 外山 富岡    | 四季歌謡・委嘱初演/草野心平の詩から/他  |
| 9. 14      | 日 | 第19回 日本男声合唱協会 (JAMCA) 遊演委員会 | びわ湖ホール              | 外山 富岡    | 四季歌謡・委嘱初演/草野心平の詩から/他  |
| 9. 27      | 土 | 強化練習1/3(合宿)                 | いこいの村あしがら           | 外山 牛丸    | 全曲 9:30～18:00 (泊)     |
| 9. 28      | 日 | 強化練習2/3(合宿)                 | いこいの村あしがら           | 牛丸       | 全曲 9:30～17:00         |
| 10. 19     | 日 | 第42回 小田原市民合唱祭               | 小田原市民会館 大H          | 牛丸       | 12:30～ 海の構図より 2・4     |
| 10. 26     | 日 | 強化練習3/3(2週間前)               | 旭丘高校音楽室             | 牛丸       | 13:00～ 全曲             |
| 11. 4      | 火 | ゲネプロ1                       | 旭丘高校音楽室             | 外山 牛丸    | 19:00～ 全曲             |
| 11. 7      | 金 | ゲネプロ2                       | 小田原市民会館 大H          | 外山 清水 牛丸 | 18:30～ 全曲             |
| 11. 8      | 土 | 第37回 定期演奏会                  | 小田原市民会館 大H          | 外山 清水 牛丸 | 勿成彦委嘱作品 / 信長富福曲委嘱作品 他 |
| 12. 23     | 火 | 平成20年 納会                    | 旭丘高校音楽室             | 牛丸       |                       |
| 1. 31      | 土 | (KAMCA) 神奈川県合唱協会 第10回 合同練習  | 藤沢市民会館              | 伊集院      |                       |
| 2. 14      | 土 | 平成20年度 総会                   | 予定                  |          | 18:00～20:00           |
| 3. 21      | 土 | 市民による第九演奏会ゲネプロ              | 小田原市民会館 大H          | 末廣 誠     |                       |
| 3. 22      | 日 | 市民による第九演奏会                  | 小田原市民会館 大H          | 末廣 誠     |                       |
| 3. 29      | 日 | (KAMCA) 神奈川県合唱協会 第2回 合同練習   | 藤沢市民会館              | 伊集院      |                       |
| 4. 18      | 土 | 第8回 神奈川県合唱協会 (KAMCA) 藤沢演奏会  | 藤沢市民会館 大H           | 牛丸伊集院    | 14:00～ほほえみ/パーバニョッパより  |
| 6. 7       | 日 | 第58回 湘南合唱祭                  | ハートニーホール座間          | 牛丸       | 10:00～                |
| 8. 1       | 土 | お祝いの会・交流懇親会                 | 東京                  | 外山 牛丸    | 13:00～                |
| 10. 18     | 日 | 第43回 小田原市民合唱祭               | 小田原市民会館 大H          | 牛丸       | 期日：予定                 |
| 11. 14     | 土 | 強化練習 (合宿)                   | 予定                  | 外山 牛丸    | 全曲 9:30～18:00 (泊)     |
| 11. 15     | 日 | 強化練習 (合宿)                   | 予定                  | 牛丸       | 全曲 9:30～17:00         |
| 12. 1      | 火 | ゲネプロ1                       | 旭丘高校音楽室             | 外山 牛丸    | 全曲                    |
| 12. 4      | 金 | ゲネプロ2                       | 小田原市民会館 大H          | 外山 牛丸    | 全曲                    |
| 12. 5      | 土 | 第38回 定期演奏会                  | 小田原市民会館 大H          | 外山 牛丸    | 草野心平の詩から/ほほえみ/北原白秋/他  |

第38回 定期演奏会 予定曲目

男声合唱組曲 『草野心平の詩から』  
 編曲 委嘱作品 『北原白秋詩集』(仮題)  
 男声合唱組曲集 『ほほえみ』

多田 武彦 作曲  
 信長 貴富 編曲  
 鈴木 憲夫 作曲

他



## 外山 浩爾 音楽監督 / 常任指揮者

日本楽壇の功労者・外山国彦を父に、指揮者・外山雄三を兄にもつ音楽一門の出身。幼少より本格的な音楽教育を受け、東京藝術大学において、柴田睦陸、ウーファー・ペニーヒ、リア・フォン・ハッサート諸氏に師事。卒業後直ちに同大学及び附属高校で教鞭をとる。その傍ら藤原歌劇団の活動に参画し、「森の歌」「ドイツイエム」等のソロ活動、「カルメン」「蝶々夫人」等、数多くのオペラ活動、「歌のメリーゴーランド」「セブンショー」等長期テレビ活動など幅広く活動。他方、合唱活動にも積極的に参画し、世界合唱連合設立代表委員、東京都合唱連盟理事長、全日本合唱連盟副理事長等を歴任。現代作曲家の数多くの新作初演等を行い合唱界発展のために尽力。

教育活動では、東京藝術大学附属高校副校長をはじめ東京藝術大学、鳴門教育大学、兵庫教育大学連合大学院教授、全日本音楽教育研究会副会長等を歴任し、1992年には、文部大臣教育功労表彰を受ける。1996年に小田原男声合唱団の音楽監督・常任指揮者に就任。現在、聖徳大学大学院教授、全日本合唱連盟相談役。大学等の合唱団の指導にあたる。



## 清水 雅彦 客演指揮者

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業後、継続開催するテノールリサイタルを、来年2009年3月15日(日)に東京・カザルスホールにて「歌の世界その4ー平和を祈る、グアテマラ」と日本から」と題し、グアテマラのホルヘ・サルメンティ氏と信長貴富氏の新作委嘱初演を含み開催する予定。一方合唱指揮者として各種コンクールの審査、講習会等の審査、NHKラジオ「みんなのコンラース」のレギュラー出演、音楽雑誌・教科書への執筆など、声楽・合唱指揮・教育と幅広い分野で活動している。またこの3月まで1年間、グアテマラ国立音楽教員養成学校をはじめ、メキシコ、中米各国において発声法、合唱指揮などの講習会講師、演奏会指揮を務めた。本年5月3日、東京六大学合唱連盟定期演奏会では合同委嘱初演演奏を指揮し好評を博す。現在、都留文科大教授、東京藝術大学ならびに昭和音楽大学短期大学部講師。日本合唱指揮者協会および北区合唱連盟副理事長。21世紀の合唱を考える合唱人集団「音楽樹」会員。著書、CD録音、ビデオ、DVD出演が多数ある。



## 牛丸 紘一 指揮者

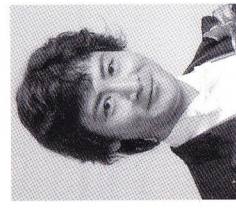
高校時代より合唱指揮をはじめ、大学時代は母校金沢大学合唱団の指揮者を務めた。大学卒業後は京都にて製薬企業に勤務の傍ら、京都で最も伝統のある京都混声合唱団に入団、副指揮者・指揮者を務め、また、職場合唱団、女声合唱団の指揮者として活躍した。この間、京都市交響楽団との協演の機会には、青山政雄、山田一雄、フルヴィオ・ヴェルニツィー、小泉和裕、佐藤功太郎、小林研一郎、井上道義、蔵田裕行、の指揮するバツハママタイ受難曲、ハイドン四季、ベートーベン第九、モーツァルト、ドボルザーク、ヴェルディ、フォーレ、デュクレのレクイエム、メンデルスゾーンのエアリア、マーラーの復活、ラベルグのダフニスとクロエ等の合唱指導を担当した。1995年より小田原へ移住し、小田原男声合唱団に入団、2005年より団内指揮者を務めている。また学生時代より合唱の編曲を手がけ、これまでに演奏の機会を得た曲は数十曲にのぼる。昨年は「千の風になって」を男声合唱に編曲し定期演奏会のアンコールにて披露し好評を得た。星旭、中村外治、青山政雄、蔵田裕行の各氏に指導を受ける。日本新薬(株)取締役生産本部長を歴任。



## 中根 希子 Piaノ

平塚江南高校を経て、東京藝術大学音楽部器楽科ピアノ専攻卒業。第4回かながわ学生音楽コンクール入賞、県市長会会長賞受賞。第48回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会入選。第3回長江杯国際音楽コンクール2位。ウィーン、シカゴ等での音楽講習会マスタークラス参加、修了演奏会に出演。1999年東京都庭園美術館コンサートでは、若手実力派演奏家として毎日新聞に掲載される。また同年、ポーランド共和国大使館後援「日本ポーランド国交樹立80周年記念および国際ショパン記念演奏会」に出演。2000年「ピアノ名曲集」のCDを発売。小田原市記念事業製作の新童謡CD全3作においても収録参加。2007年3月小田原市民劇場、小林研一郎指揮「市民による第九演奏会」および、2008年「モーツァルトレクイエム短調」のピアノアシスタントを務め、好評を博す。国内外のリサイタル活動はもとより、歌曲伴奏、室内楽等の演奏会やレコーディング、FMおだわらの出演等幅広く活躍。来年2009年4月17日(金)、ウィーンフィルと共演予定。

これまでに植田克己、佐藤俊、ノエル・フロレーレスの各氏に師事。藝大小田原市人会メンバー。



## 杉山 範雄 ヴォイストレーナー

10歳より小田原少年少女合唱隊に入隊。ルネッサンスから現代曲まで、主にアカペラ合唱曲を学ぶ。湘南工科大学附属高校、東京藝術大学音楽部声楽科を経て、オペラ、宗教曲をはじめ、丹沢音楽祭、小林研一郎指揮「市民による第九演奏会」などのソリストとして多数出演、好評を博す。

現在、神奈川県合唱連盟理事、同連盟合唱プロジェクト、サガミコミュニケーション文化事業合唱講習会、桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」、栄区メサイア塾講師。ソロ・しるふれい、In Pace指揮者、金沢混声合唱団常任指揮者、栄混声合唱団副指揮者、サウンドブリッジ合唱団、JVC合唱団指導員、小田原男声合唱団ヴォイストレーナー。声楽を多田羅迪夫、桑原妙子の各氏に師事。藝大小田原市人会メンバー。



